

04 春闘アピール(案)

本日私たちは、第30回臨時大会を開催し、04春闘で要求前進にむけた方針を確立しました。

小泉内閣は、多くの国民の反対の声を無視して、自衛隊のイラク派兵を強行しました。これは、戦後日本国憲法が国際社会にむけて高らかに謳った第9条の「戦争放棄」を真っ向から踏みこむものであり、断じて許すことのできない暴挙です。しかも自衛隊の派兵は、イラク国民の支援ではなく、アメリカの占領政策に加担するというものであり、戦闘状態にあるイラクへの派兵がきわめて危険であることは明白です。私たちは、本臨時大会の名において、自衛隊がただちにイラクから引き上げることを求めるものです。

日本経団連は、04春闘にむけて「ベアなし・定昇廃止・賃下げも」とうちあげ、「春闘は終わった」として、労働者にいっそうの賃下げを押しつけようとしています。トヨタ自動車は史上空前の大儲けを続けているにもかかわらず、ベアゼロ・定昇廃止をはやばやとうちだしました。トヨタだけでなく大企業は「国際競争力」を口実に、激しいリストラ・首切り、下請いじめをつよめています。このもとでの失業と倒産、長時間過密労働が、生活・労働のあらゆる部面で悪化をもたらしています。いまや大企業・財界は、二大政党制・政治献金など政治をカネで買い占め、労働者・下請業者だけでなく、消費税増税などをうちだし、すべての国民にその犠牲を強要しているのです。

大企業の横暴に対するたたかいの一環として、愛労連は04春闘で日本経団連会長のおひざ元であるトヨタ自動車に対し2月11日、社会的責任を果たすよう強く求めるために「トヨタ総行動」を展開します。多くの組合員の参加でこの運動を成功させましょう。

賃金は5年連続マイナスとなり、労働者の家計を直撃しています。これ以上の賃下げ許さず、積極的な引き上げを求めるとともに、最低賃金改善などの要求をかかげ、職場・地域でおおいに奮闘しましょう。

小泉内閣は、04年度に、年金改悪をはじめ、庶民大增税を強行しようとしています。大企業には減税をおこない、庶民には個人所得税増税・消費税率二桁を視野にいれた大增税を押しつける小泉内閣の愚行を何としても阻止しなければなりません。また年金では保険料大幅アップ、給付切り下げという負担を押しつける改悪を強行しようとしています。

私たちは、2月1日に広範な県民・団体などと共同し、「年金改悪・大增税反対ネットワーク愛知」を結成し、2.25総行動では地域で、4月4日には県民集会を開くことにしています。職場や地域でおおいに学習や宣伝活動を展開し、4.15年金ストを成功させましょう。

愛労連52,000人組合員が力をあわせ、未組織労働者も視野に入れて、困難と攻撃を打ち破って、04春闘を大きく前進させましょう。

以上、宣言します。

2004年1月25日
愛労連第30回臨時大会